

授業科目	保育実践の理解と方法					単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士			ナンバリング	CH21309J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP4-2				
担当教員	河渕 洋美								
授業概要	【実務家教員担当科目】 乳幼児期における子どもの成長発達と保育者の援助と指導方法について、様々な事例をもとに考える。一人一人の子どもをとらえる視点や子ども理解と指導・援助の在り方を学び、保育を実践する基盤を培う。								
学生が達成すべき行動目標	1 各年齢の特質に合わせた保育指導方法の基本的な考え方を身に付ける。 2 実践記録をもとに様々な保育者の指導方法を学び、自身で実践するための思考力を身に付ける 3 子どもを深く理解しようとする態度を持ち、考えを確かなものとする姿勢を身に付ける								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)			50		10		60		
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)									
態度(DP4-1)									
態度(DP4-2)					20	20	40		
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
子どもの行動や言葉をもとに、内面の気持ちを深く推察し、理解に至るための意識や態度、姿勢を持つことができる。子どもの生育をめぐる人間関係や自らの保育指導に対する認識を深め、どのような保育を行うことが必要か考え出すことができる。					子どもの行動や言葉をもとに、内面の気持ちを推察し、家族を含む背景を理解する態度や姿勢を持つことができる。また、提示された保育実践の記録から、そのポイントを自分なりに見つけ出し、今後の実践の参考にすることができる。				
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	オリエンテーション 授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。			シラバスによりオリエンテーションを行う		講義内容を振り返る		30	

2	3歳児の特質と指導の要点① ◎3歳児の特質を確認し、3歳児なりの理解のあり方や認識、行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。 ◎幼稚園・保育園・認定こども園など施設や事業について知る。	実践事例等資料配布 レポート1	3歳児の特質を理解する 実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考える	30
3	3歳児の特質と指導の要点② ◎実践記録からより具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる保育方法を検討する。 ◎健康と安全	資料配布	実践の内容を整理し、理解する	30
4	4歳児の特質と指導の要点① 4歳児の特質を確認し、4歳児なりの理解のあり方や認識、行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。	資料配布 レポート2	4歳児の特質を理解する 配布した実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考える	30
5	4歳児の特質と指導の要点② ◎実践記録からより具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる指導方法を検討する。 ◎食育とアレルギー	資料配布	実践の内容を整理し、理解する	30
6	5歳児の特質と指導の要点① ◎5歳児の特質を確認し、5歳児なりの理解のあり方や認識、行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。 ◎職員集団と情報の伝達	資料配布 レポート3	5歳児の特質を理解する 配布した実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考える	30
7	5歳児の特質と指導の要点② ◎実践記録からより具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる保育方法を検討する。 ◎保育と記録	資料配布	実践の内容を整理し、理解する	30
8	0歳児の特質と指導の要点 ◎0歳児の特質を理解し、0歳児なりの理解のあり方や認識、行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。 ◎生命の保持と情緒の安定	資料配布	0歳児の特質を理解する 配布した実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考える	30
9	1歳児の特質と指導の要点 ◎実践記録から、より具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる保育方法を検討する。 ◎保護者との連携	資料配布	実践の内容を整理し、理解する	30
10	2歳児の特質と指導の要点① ◎2歳児の特質を確認し、2歳児なりの理解のあり方や認識、行動の様子をもとに指導の基本を学ぶ。 ◎相談援助	資料配布 レポート4	2歳児の特質を理解する 配布した実践記録を読み、指導上、学ぶべき点を考える	30
11	2歳児の特質と指導の要点② ◎実践記録からより具体的な子どもの様子を確認する。また、その時に求められる保育方法を検討する。 ◎研修と資質の向上	資料配布	実践の内容を整理し、理解する	30
12	子ども理解と保育方法① ◎特に配慮を要する子どもと援助のあり方 配慮を要する子どもとは？個性のとらえ方を考える。 ◎保育と環境 環境構成のあり方について、実践記録を基に指導の要点を考える。	資料配布 (ワークシート)	ワークシートの記入について、グループで補足、訂正したものを検討し充実したものにする	30
13	子ども理解と保育方法② ◎実践記録からより具体的な子ども様子を確認する。また、求められる保育の手立てを考える。 ◎障害児保育のための環境整備について	資料配布	実践の内容を整理し、理解する	30
14	各年齢の発達を踏まえ、配慮が必要な子ども達について考える。	授業を振り返りレポートを作成する。	前期の授業内容を振り返り、自分なりにまとめる。	30

15	まとめ 前週に作成したレポートをもとに学びの振り返りを行う。	講義	どれくらい理解できているか 自己評価をし、前期の学びをまとめる。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	年齢別の発達を理解し、自分なりのかかわり方を考える これまで行った実習での子どもの様子や保育者の指導の様子、方法などを振り返る			
テキスト	なし 毎回、実践記録や資料を配布する ファイリングして授業ノートを作る			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	子ども保育総合研究所「よくわかる保育原理」ミネルヴァ書房 日本保育学会編「保育学講座」東京大学出版会 北九州市・北九州市保育士会編「ともにそだつ」 全国社会福祉協議会「保育の友」 北九州市児童福祉施設等第三者評価事業評価基準(保育所編)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	年齢別の発達や実践事例を通し、子ども達に向き合う態度や気持ち、その背景にある人間関係(保護者、地域、職員集団等)が理解できる保育士、幼稚園教諭になってほしいと願っています。 周りの人の考えと自分の考えをすり合わせながら、違う意見も取り入れ、自分なりの判断ができる力を身に付けましょう。 子ども達一人一人を大切に思い、それぞれに応じた指導方法を探る姿勢を大切にしたいと思っています。			
達成度評価に関するコメント	試験はありません。 レポートやワークシートなどを期日を守っているか、その内容は適切か評価します。 提出の遅延や乱雑な扱いをしないように気を付けましょう。 また、私語を謹んで積極的に学んでいるか、毎回の授業態度も評価します。			

